



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 永谷園

コード番号 2899 URL <http://www.nagatanien.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 永谷 泰次郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 松村 雅彦

TEL 03-3432-2511

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	18,512	3.3	530	△30.0	617	△29.3	335	△43.3
27年3月期第1四半期	17,915	13.2	757	△3.7	873	4.2	591	6.9

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 556百万円 (△24.7%) 27年3月期第1四半期 738百万円 (9.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	9.32	—
27年3月期第1四半期	16.40	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	67,244	29,921	44.4
27年3月期	68,352	29,643	43.2

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 29,838百万円 27年3月期 29,552百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	7.75	—	7.75	15.50
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	7.75	—	7.75	15.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,700	3.0	3,000	4.3	3,100	0.1	1,860	11.2	51.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	38,277,406 株	27年3月期	38,277,406 株
28年3月期1Q	2,319,641 株	27年3月期	2,319,261 株
28年3月期1Q	35,957,903 株	27年3月期1Q	36,065,139 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策による企業収益の向上や雇用環境の改善から個人消費の持ち直しも見られたものの、世界の食糧需要拡大による相場上昇や円安の影響による物価上昇の懸念もあり、先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、「企業戦略の充実」と「新価値提案力の更なるアップ」を経営課題として企業活動を行ってまいりました結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高185億12百万円（前年同期比3.3%増）となりました。利益面につきましては、原材料価格の高騰による製造コストの上昇により、営業利益5億30百万円（同30.0%減）、経常利益6億17百万円（同29.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億35百万円（同43.3%減）となりました。

以下、セグメントの状況は次のとおりであります。

#### ①食料品事業

既存商品では、お茶づけ商品において、5月17日の「お茶漬けの日」を中心に消費者参加型の記念イベントを各地で実施するとともに、店頭でのサンプリング企画による商品の露出強化やTVCMの集中投入による認知度アップに取り組んでまいりました。また、主力ブランドの「あさげ」シリーズ、「麻婆春雨」は売上が好調に推移し前年同期を上回りました。

新商品では、惣菜商品において、家庭にある材料で居酒屋のような本格的な味が簡単に楽しめる「わが家は名酒場」シリーズ（本年2月発売）に加え、健康を意識される方へのニーズに対応した「やさしい中華」シリーズの新メニュー「やさしい中華 麻婆茄子」（本年2月発売）を積極的に拡販し新規顧客の獲得に努めてまいりました。

以上の結果、食料品事業の売上高は157億61百万円（前年同期比1.8%増）となりました。

#### ②中食その他事業

麦の穂グループにおいて、「ビアドパパ」の既存店で売上が順調に推移し前年同期を上回りました。また、新ブランドとして、今までになかった食感と味にこだわった高級シュークリーム専門店「シュクリムシュクリ(CHOUXCREAM CHOUXCRI)」をJR池袋駅南口にオープン（本年3月）いたしました。

以上の結果、中食その他事業の売上高は27億50百万円（前年同期比13.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より11億8百万円減少し、672億44百万円となりました。これは主に、原材料及び貯蔵品、建設仮勘定並びに投資有価証券が増加したものの、現金及び預金並びに受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。また負債は、前連結会計年度末より13億86百万円減少し、373億23百万円となりました。これは主に、長期借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金、短期借入金並びに流動負債その他に含まれる未払金が減少したことによるものです。また、純資産は主に、その他有価証券評価差額金が増加したことにより299億21百万円となりました。この結果、純資産から非支配株主持分を控除した自己資本は、前連結会計年度末より2億86百万円増加の298億38百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.2ポイント上昇の44.4%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第1四半期連結累計期間の業績は、売上高・利益とも概ね当初計画の範囲内で推移していることから、平成27年5月15日発表の通期業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間の期首より、(株)ユニネットは、(株)永谷園プロパティを存続会社とする吸収合併により消滅しております。また、(株)ふじの華は、藤原製麺(株)を存続会社とする吸収合併により消滅しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 追加情報

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)第39項に掲げられた定め等を適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,195	7,299
受取手形及び売掛金	10,454	9,210
商品及び製品	4,045	3,923
仕掛品	618	643
原材料及び貯蔵品	4,242	4,600
その他	1,511	1,628
貸倒引当金	△9	△4
流動資産合計	29,059	27,300
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,628	16,700
減価償却累計額	△10,368	△10,475
建物及び構築物(純額)	6,259	6,225
機械装置及び運搬具	14,101	14,236
減価償却累計額	△10,712	△10,862
機械装置及び運搬具(純額)	3,388	3,373
土地	11,419	11,418
リース資産	2,233	2,287
減価償却累計額	△1,161	△1,157
リース資産(純額)	1,071	1,130
建設仮勘定	663	1,011
その他	2,067	2,111
減価償却累計額	△1,639	△1,658
その他(純額)	427	453
有形固定資産合計	23,230	23,612
無形固定資産		
のれん	6,175	6,088
その他	106	114
無形固定資産合計	6,282	6,203
投資その他の資産		
投資有価証券	8,121	8,468
その他	1,766	1,770
貸倒引当金	△107	△111
投資その他の資産合計	9,780	10,126
固定資産合計	39,293	39,943
資産合計	68,352	67,244

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,978	7,538
短期借入金	4,726	4,286
未払法人税等	397	231
賞与引当金	597	439
資産除去債務	5	12
その他	6,927	6,094
流動負債合計	20,631	18,602
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	9,756	10,537
役員退職慰労引当金	15	17
退職給付に係る負債	295	255
資産除去債務	231	234
その他	2,778	2,675
固定負債合計	18,077	18,721
負債合計	38,709	37,323
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,502	3,502
資本剰余金	6,331	6,331
利益剰余金	23,035	23,092
自己株式	△2,065	△2,065
株主資本合計	30,804	30,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,854	2,104
土地再評価差額金	△3,406	△3,405
為替換算調整勘定	165	143
退職給付に係る調整累計額	134	135
その他の包括利益累計額合計	△1,252	△1,022
非支配株主持分	90	82
純資産合計	29,643	29,921
負債純資産合計	68,352	67,244

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	17,915	18,512
売上原価	9,451	10,059
売上総利益	8,463	8,452
販売費及び一般管理費		
販売促進費	2,828	2,920
賞与引当金繰入額	116	117
その他	4,761	4,884
販売費及び一般管理費合計	7,706	7,922
営業利益	757	530
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	64	61
不動産賃貸料	32	37
その他	93	59
営業外収益合計	190	160
営業外費用		
支払利息	43	40
その他	31	32
営業外費用合計	74	73
経常利益	873	617
特別利益		
受取和解金	29	—
特別利益合計	29	—
特別損失		
減損損失	1	35
店舗閉鎖損失	6	0
特別損失合計	8	35
税金等調整前四半期純利益	894	581
法人税等	304	256
四半期純利益	590	324
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△10
親会社株主に帰属する四半期純利益	591	335



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	590	324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	150	252
土地再評価差額金	—	0
為替換算調整勘定	△6	△21
退職給付に係る調整額	4	0
その他の包括利益合計	148	232
四半期包括利益	738	556
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	739	565
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△8

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	894	581
減価償却費	437	440
減損損失	1	35
のれん償却額	81	86
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△168	△157
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4	△40
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	1
受取利息及び受取配当金	△65	△63
支払利息	43	40
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△0
その他の営業外損益(△は益)	4	△4
その他の償却額	13	14
有形固定資産除売却損益(△は益)	3	2
売上債権の増減額(△は増加)	1,342	1,240
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,103	△259
仕入債務の増減額(△は減少)	933	△439
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△446	△937
未払消費税等の増減額(△は減少)	69	△236
その他の資産・負債の増減額	22	32
小計	2,069	336
利息及び配当金の受取額	65	61
利息の支払額	△48	△46
法人税等の支払額	△1,024	△447
法人税等の還付額	0	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,062	△93

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△6	△6
有形及び無形固定資産の取得による支出	△467	△730
有形固定資産の売却による収入	3	0
関係会社貸付けによる支出	△5	△51
短期貸付金の回収による収入	—	2
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	1	0
差入保証金の差入による支出	△51	△26
差入保証金の回収による収入	21	3
子会社株式の取得による支出	—	△10
保険積立金の解約による収入	—	19
その他	△18	△0
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△524</b>	<b>△800</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△110	△576
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△99	△105
長期借入れによる収入	—	1,279
長期借入金の返済による支出	△379	△361
自己株式の純増減額(△は増加)	△1	△0
配当金の支払額	△221	△225
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△131	—
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△943</b>	<b>9</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△411	△901
現金及び現金同等物の期首残高	8,460	8,187
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	92	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,141	7,285

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	食料品事業	中食その他 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	15,482	2,433	17,915	—	17,915
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1	0	1	△1	—
計	15,483	2,433	17,916	△1	17,915
セグメント利益	641	116	757	—	757

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	食料品事業	中食その他 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	15,761	2,750	18,512	—	18,512
セグメント間の内部売上高又は 振替高	8	1	9	△9	—
計	15,769	2,751	18,521	△9	18,512
セグメント利益	471	58	530	—	530

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。